

8200

頁九第

(裁決) 行決 後 覽 回		帶 連		執行指定	局長	決裁指定	永久	保存期限
長(部)局		長(部)局		大臣		件名		受領番號
				大臣		近衛第五師團人員補充ノ件		陸軍省第一三六〇號
				官次		官次務政		
				官		官		
長 課		長 課		長局務主		官副級高		官與參
		補充 陸軍省		長課務主		官房主計		書記官
				員課務主		主務副官		
				房官臣大		課局務主		
				了結領受		出提領受		號番
				昭和		昭和		
				年		年		
				月		月		
				日		日		

政務官回付(決行前)

(決行後)

審案  
筆記者

富集團

陸軍



陸軍大臣

（内務部）

次官ヨリ富集團參謀長へ電報（暗号）系

十月十八日富集參電第五九七號近衛及第五

（目下ニ於テハ）

師團ニ對スル補充ノ件 船舶ノ關係上交代補充ハ

實施シ得サルヲ以テ昭和十五年陸支撥案第二五四號

大東亞戰爭間軍人、軍屬等ノ補充、交代等ニ関スル

規程第二十四條ノニニ據リ缺員補充ノミヲ實施

（近衛 第五師團）

セラレ度尚初年兵ハ之ヲ補充要員ト為ス如ク關係

（當該師團）

陸軍

留守師團ニハ通牒セラレアリ  
留守先富在志心(田集志考考5)

陸軍省

270  
一四二八  
昭和拾七年十月廿壹日

副官ヨリ留守近衛一月第五師團參謀長

ハ通牒案

十月十八日富集參電第五九七號人員補充ノ件  
別紙寫ノ如ク返電セシニ付承知セラレ度尚昭知  
十六年徵集現役兵ハ之ヲ補充要員トシテ外  
部補ノ請求ニ應ジ派遣(補充)スル如ク取計ハ  
レ度依命通牒ス

近衛 第五師團

建電密第四六二二號 昭和拾七年十月廿壹日



至急

秘電報譯

二月十八日 午前午後一時。分發

發信者 富集團 參謀長

富集團 第五九號

一 此 師團ニ對スル 補充ニ關シテハ 參謀長ヲ以テシテ  
 依リ 初年兵ヲ派遣スル 如ク 準備セラルトシテ  
 速カニ 派遣アリカ 希シキ 派遣時期 至急 承知致ス  
 尚 該 師團ニ對シテ 交代 補充 又 此 際 實施シ 師團  
 戦力ノ 充實ノ 要アリト 認メラルルニ 何カノ 指示アリ  
 缺員(人員ノ 状況)ニ 關シテハ 既ニ 報告(留守師團)

1.19

發信地 1.19

軍

4

三、請求（濟古七團佐轄屬其地ニ依リ生ゼシ缺員、

ヲ合シ現在兵ノ缺員ハ状況左ノ如シ

近衛歩兵才三聯隊約二〇〇。才四聯隊約三〇〇。

才五聯隊約六〇。

二、才五師團ハ復員下令セラルルニ現在ノ當軍方面ノ

状況ニ鑑ミ缺員ノ補充ノニ實施セラルル注意見ナリ

歩兵聯隊缺員状況左ノ如シ

歩兵才一聯隊、將校三五、准士官下士官二四、

兵約二〇〇。

通報先

第

號其

日午前

時

分著

翻譯者

步兵、步兵、騎隊、特校、二五、兵、約、一〇。  
 步兵、步兵、騎隊、特校、二六、兵、約、一一。  
 以上南方軍又諒解濟

通電之 九長 九長 (留守近所師團) 九長師團

近衛師團 九五師團 (參考)

(一)

陸軍

0084

要略 一三六

秘

電報譯

次

官宛

發信者 富集團參謀長

富集參電第七〇三號

陸軍省 12.4

前後一四時〇〇分發  
前後一五時〇〇分發

發信地

陸軍省 17. 4 - 4  
第 444 號 軍

12

第五師團各步兵聯隊缺員狀況ニ関  
 シテハ富集參電第五九七號ニ依リ連絡  
 セシモ其ノ後細部調査ノ結果入院等  
 ノ關係上補充ヲ要スル數ハ左ノ如ク  
 増加セシニ付謀議アリ度  
 步兵第十一聯隊 步兵四〇〇

歩兵第二十一聯隊 歩兵一七一輜重兵二五  
歩兵第四十二聯隊 歩兵二七〇  
尚特科ノ缺員ハ僅少ナリ

通電先、次長、次官、廣島

終